

# 小学部3年生の社会科見学



広州日本人学校の小学部3年生は、毎年「イオン東方宝泰店」へ社会科見学に行きます。子どもたちは「お店ではたらく人」の単元で、児童の家庭がふだん買い物をしているスーパーマーケットについての学習をします。実際にお店で働く人の様子を見学し、自分たちの発見や疑問を記録しながら、仕事の特色や地域とのつながりを考えるというのがねらいです。

売り場の見学では、各クラスに分かれ、食品・寝具・家庭用品・倉庫や店の裏側の説明を聞きながら一回りし、「プライベートブランド」があることや商品陳列の工夫などを学びました。お店の裏の見学では、手洗い体験等を通して、衛生面に気を付けていることを知り、教科書では学べないことに子どもたちはたくさんのメモをとっていました。ものを買う消費者としての視点と、商品を売る販売者の立場を少しですが理

解できたようです。

子どもの感想には、「普段見れないところを見ることができ嬉しかったです。冷凍庫の温度がマイナス18℃だということに驚きました。」や「倉庫の中に入る前にお辞儀をしてから入ることを始めて知りました。今日は楽しかったです。」などがありました。

また、社会科の学習以外にも、セールの表記の仕方の「8折」や売られている商品などから、日本と中国の違いに気付き、貴重な体験をすることができました。

子どもたちには今後も、中国への理解や関心を高めていってほしいと思っています。

イオン東方宝泰店の皆様、忙しい業務の中、見学を受けて入れて下さったことに改めて感謝申し上げます。